

学位被授与者氏名	松尾 星璃佳 (まつお せりか)
論文題目	オリヴァー・ラファージとアメリカ先住民 －文化人類学者・文学者・活動家の目から見た先住民政策－
論文審査結果の要旨	<p>オリヴァー・ラファージは、日本はもとより、アメリカ合衆国の先住民研究でもこれまであまり取り上げられてこなかったものの、文化人類学者、作家、先住民支援活動家として、それぞれの分野で大きな功績を残しており、もっと注目されてもよい人物である。当該学生は修士論文で、ラファージの文化人類学者としての調査や研究がピューリッツァー賞を受賞した小説 Laughing Boy をはじめとする多数の著作に生かされていること、また1930年代からは活動家として、小説を通じて読者に問いかけようとした問題をより広範な社会に提起したことを、資・史料を用いながら明らかにした。さらに彼の家族の歴史や育った家庭環境を丹念に追うことで、20世紀初頭から1960年代まで一貫して単純な先住民同化政策に反対し続けたラファージの人物像がいつそう鮮やかに描き出されている。</p> <p>以上の点から当該論文は、ややバランスが悪い面はあるものの挑戦的であり、合格の水準に達していると思われる。</p> <p>平成26年2月20日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 E-302 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(国際学)として十分な内容であると判定した。</p>